

ヘルプマークをご存じですか？

援助や配慮が必要な方のためのマークです。このマークを見かけたら、思いやりのある行動をお願いします。

♥配付場所

- 帯広市役所 1階 障害福祉課窓口
2階 高齢者福祉課窓口
- 帯広市保健福祉センター
1階 障害者生活支援センター
1階 子育て支援課

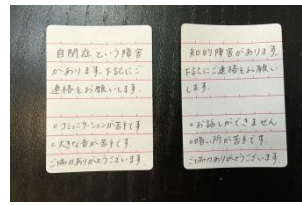


※窓口にお越しいただく際、障害者手帳などの提示は必要ありません。
※ヘルプマークの趣旨に沿った適正な利用をお願いします。

♥ヘルプマークとは

周りの方々に援助や配慮が必要なことを知らせることができるマークです。

- ・義足や人工関節を使用している方
- ・内部障害や難病の方
- ・妊娠初期の方
- ・その他援助や配慮を必要とする方



▲鞆などにつけられます。 ▲裏面にシールを貼り、必要な支援を書くことができます。

♥ヘルプマークを見かけたら

電車・バスの中で席をお譲りください

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、同じ姿勢を保つことが難しい方がいます。また、援助や配慮を必要としていることが外見から分からないため、優先席や専用席に座っていると、不審な目で見られるなどストレスを受けることがあります。

駅や商業施設で声をかけるなどの配慮をお願いします

交通機関の事故など、突然起きたことや急な変化に対応することが難しい方や、立ち上がる、歩く、階段を昇り降りするなどの動作が難しい方がいます。

災害時は、安全に避難するための支援をお願いします

障害などにより状況を理解することが難しい方、自力での避難が難しい方がいます。

♥事例紹介

① 義足や人工関節を使っている方

外見から分からないので、優先席に座っていると注意されたが、ヘルプマークを付けることで、周りの理解が深まり、とても気が楽になった。

② 聴覚障害のある方

お店で、シールに「聞こえないので筆談をお願いします」と書いたヘルプマークを見せると、すぐ分かってもらってありがたかった。

③ 発作で倒れた経験のある方

ヘルプマーク(シール)に緊急連絡先の電話番号を書いておいたため、発作で倒れた際に、救急隊員が気づいて、一命を取り留めることができた。

④ 知的障害のあるお子さん

駅で迷子になった際に、駅員がヘルプマークに気づいてくれ、声かけしながら見守ってくれた。



<ヘルプマーク付属のシール>

私は皆さんの支援が必要です。
下記に連絡して下さい。
私の名前
連絡先の電話 1
呼んで欲しい人の名前
連絡先の電話 2
呼んで欲しい人の名前

♥ヘルプカードとは

緊急連絡先や必要な支援内容などを書くことができ、日常場面で困ったとき、

緊急時、災害時などに、周りの援助や配慮をお願いしやすくするカードです。

※ヘルプカードには、個人情報が多く含まれる可能性がありますので、取扱いには十分気をつけてください。

※配付を受けるにあたり、手続きは必要ありません。ダウンロードし、ご自身で印刷してご利用ください。



帯広市保健福祉部障害福祉課

電話:0155-65-4148 FAX:0155-23-0163